

長野技術専門校ってどんな学校？

～調べてみよう自分の進路～

Q&A



CONTENTS

《長野技術専門校のご紹介》

1	長野技術専門校はどんな学校？	……………	1 頁
2	どんな科がありますか？	……………	1 頁
3	どんなことを学ぶのですか？	……………	1 頁

《訓練の内容について》

4	1日の訓練はどのような流れになっていますか？	……………	2 頁
5	年間の訓練時間はどれくらいですか？	……………	2 頁
6	夏休みなどはありますか？	……………	2 頁
7	数学や理科が苦手ですが大丈夫ですか？	……………	3 頁
8	放課後の居残りなどはできますか？	……………	3 頁
9	カリキュラムの内容はどうですか？	……………	3 頁
10	どんな資格がとれますか？	……………	3 頁
11	修了後どんな会社へ就職していますか？	……………	3 頁
12	過去の就職率はどうなっていますか？	……………	4 頁
13	履歴書の学歴欄へ記載出来ますか？	……………	4 頁

《校生活について》

14	寮や寄宿舍はありますか？	……………	4 頁
15	昼食はどうすればいいですか？学食はありますか？	……………	4 頁
16	自動車やバイクで通校してもいいですか？	……………	5 頁
17	クラブ活動などはありますか？	……………	5 頁
18	アルバイトはできますか？	……………	5 頁
19	最寄りの JR 駅、バス停はどこになりますか？通校補助はありますか？	……………	5 頁
20	訓練中や通校時の服装について	……………	5 頁
21	訓練中や通校途中でケガをした場合の保障はありますか？	……………	6 頁

《入校試験について》

22	入校選考試験は年何回ありますか？	……………	6 頁
23	過去の定員と倍率はどうなっていますか？	……………	6 頁
24	選考試験の内容はどのようなものですか？	……………	7 頁
25	職業適性検査とはどのようなものですか？	……………	7 頁
26	どのような選考試験対策を行えばよいですか？	……………	7 頁
27	オープンキャンパスはありますか？	……………	7 頁

《費用について》

28	学費はいくらかかりますか？	……………	8 頁
29	分割払いは可能ですか？	……………	8 頁
30	奨学金や授業料の減免制度はありますか？	……………	8 頁
31	職業訓練受講給付金を受けることはできますか？	……………	8 頁

《関連資料》

○	令和4年度年間行事計画	……	9～10 頁
○	各科訓練カリキュラム	……	11～14 頁
○	各科取得可能資格一覧表	……………	15 頁
○	修了生の主な就職実績	……………	16 頁

長野技術専門校のご紹介

1 長野技術専門校はどんな学校？

長野技術専門校は、学校教育法に定める大学や専門学校のような「学校」ではなく、職業能力開発促進法の規定に基づき長野県が設置運営する「公共職業能力開発施設」です。

1年間、就業に必要な技術や知識を身につけるための職業訓練を行うとともに、各種職業資格の取得に努め、地域の産業界へ就職することを目的としています。

2 どんな科がありますか？

「機械加工科」 (入校定員 20 人)、

「電気工事科」 (入校定員 20 人)、

「画像処理印刷科」 (入校定員 15 人)、

「木造建築科」 (入校定員 20 人)、 の4科がありいずれも1年制です。

3 どんなことを学ぶのですか？

「機械加工科」では、NC 工作機械・汎用工作機械の正しい操作、加工の段取り、刃具・工具の使い方、安全作業など機械加工全般にわたる知識と基礎的な技能を学びます。また、CAD、CAM を用いた機械設計、機械製図を学び、NC 旋盤・マシニングセンタによる部品加工についても習得します。

「電気工事科」では、一般住宅や小規模工場の照明設備と動力設備の設計、施工方法を学びます。また、受変電設備や制御盤設備の施工、検査、試験方法、自動火災報知設備の施工・点検方法、電気通信設備の概要を学び、第二種及び第一種電気工事士試験、消防設備士試験、施工管理技術検定学科試験の合格を目指すとともに CAD を用いた設計製図、シーケンス制御技術等を習得します。

「画像処理印刷科」では、画像処理用パソコンを用いたデザインから、業務用印刷機を用いた印刷まで、印刷物が出来上がるまでの一連の工程を学びます。作品の制作実習では、時間、材料、規格等決められた条件の中で、より完成度の高い創造

性豊かな作品を制作するために必要な知識・技能を習得します。

「木造建築科」では、木造住宅の構造、施工方法を基礎から学ぶとともに、手工具、木工機械の使用法と工作法を学びます。継手・仕口等の加工組み立てができない在来工法による小規模な木造建築物の設計、施工の技能及び関連知識を身につけ、技能検定2級合格（技能五輪参加）を目指すとともに、建築大工としての技能を習得します。

訓練の内容について

4 1日の訓練はどのような流れになっていますか？

朝8時35分から夕方3時35分までが訓練時間です。お昼時間（60分）と午前、午後にそれぞれ5～10分間の休憩時間があります。

1学期は午前中に教室で座学を行い、午後には実習場で実技を学びますが、科ごとに変更することもあります。

座学 8:35～10:15	休憩	座学 10:20～12:00	お昼	実技 13:00～14:40	休憩	実技 14:45～15:35
-------------------------	-----------	--------------------------	-----------	--------------------------	-----------	--------------------------

5 年間の訓練時間はどれくらいですか？

令和4年度は4月7日の入校式から翌年3月16日の修了式までの1年間を通し訓練を行い、総訓練時間は1,423時間になります。詳しい年間行事計画は、令和4年度年間行事計画（9～10頁）をご覧ください。

6 夏休みなどはありますか？

夏休み、冬休みとしてそれぞれ2～3週間の休みがあります。詳しい年間行事計画は、令和4年度年間行事計画（9～10頁）をご覧ください。

7 数学や理科が苦手ですが大丈夫ですか？

過去にも、数学や理科が苦手な訓練生がいましたが、無事修了し就職しています。指導員が丁寧に教えるので、話をしっかり聞き、ノートをとり、復習をしっかりと行えば、技術・技能習得、資格取得も十分できます。

8 放課後の居残りなどはできますか？

下校時間（夕方5時）までは自習ができます。また必要に応じ補講を行うことがあります。

9 カリキュラムの内容はどのようなですか？

科ごとのカリキュラムは、各科訓練カリキュラム（11～14頁）をご覧ください。また、詳しい内容に関しては、当校へご連絡ください。

10 どんな資格がとれますか？

科ごとに就職に有利な資格取得を目指します。取得可能な資格はたくさんありますので、詳しくは、各科取得可能資格一覧表（15頁）をご覧ください。

11 修了後どんな会社へ就職していますか？

「機械加工科」では、金属製品製造業、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業等へ就職しています。

「電気工事科」では、一般電気工事業、電気配線工事業、電気通信工事業等へ就職しています。

「画像処理印刷科」では、印刷業、製版業、製本業、印刷関連サービス業、出版業、広告制作業等へ就職しています。

「木造建築科」では、ハウスメーカー、建築関連産業等へ就職しています。詳しい就職先に関しては、修了生の主な就職実績（16頁）をご覧ください。

12 過去の就職率はどうなっていますか？

過去3年修了生就職状況

項目		機械加工科			電気工事科			画像処理印刷科			木造建築科		
		R元	R2	R3	R元	R2	R3	R元	R2	R3	R元	R2	R3
修了生数	全体	11	6	6	8	10	6(1)	4(2)	10(4)	4(1)	10(2)	9(1)	6
	内新卒者	9	6	6	7	5	5	2(1)	8(2)	2	7	8(1)	5
就職者数	全体	9	6	5	8	10	6(1)	4(2)	7(2)	4(1)	9(1)	9(1)	5
	内新卒者	7	6	5	7	5	5	2(1)	6(1)	2	7	8(1)	5
就職率	全体	82%	100%	83%	100%	100%	100%	100%	70%	100%	90%	100%	83%
	内新卒者	78%	100%	83%	100%	100%	100%	100%	75%	100%	100%	100%	100%

() 内女性

新規高校卒業生の修了生も各科おおむね高い就職率となっています。

13 履歴書の学歴欄に記載できますか？

職業訓練校は学校教育法に定める教育機関ではないため、学歴欄へ記載はできません。ただし、訓練内容を職歴欄へ記載することができます。

校生活について

14 寮や寄宿舎はありますか？

自宅からの通校が困難な人のために寮があります。寮の定員は6名（6部屋）です。男性専用となっておりますので、女性の方は近隣の民間アパート等を各自で探していただくことになります。

15 昼食はどうすればいいですか？学食はありますか？

学生食堂はありませんので、各自でご用意（弁当など）していただくことになります。なお、徒歩1～2分程度の距離にコンビニがあります。

16 自動車やバイクで通校してもいいですか？

自動車やバイクで通校を希望する人は、所定の書類を届け出ることによって通校することができます。ただし、一定基準以上の任意保険に加入していることが条件となります。校内に訓練生用の駐車スペースがあります。

なお、例年、免許取得後日の浅い訓練生の交通事故が発生しています。できるだけ公共交通機関で通うようにしてください。

17 クラブ活動などはありますか？

文科系、体育系とも常時活動しているクラブはありませんが、希望する場合は、課外活動としてのクラブを設けることができます。

過去には、合唱クラブが活動したことがあります。

18 アルバイトはできますか？

訓練に支障のない範囲でアルバイトは可能です。当校による斡旋は行っておりませんので、各自で探していただくようになります。なお、時間、場所に無理があり、翌日の訓練に影響のあるアルバイトは避けるようにしてください。

19 最寄の JR 駅、バス停はどこになりますか？通校補助はありますか？

JR 駅は「篠ノ井」となります。なお、当駅には JR 東日本の信越本線と篠ノ井線、しなの鉄道のしなの鉄道線の 3 路線が乗り入れています。駅から当校までは、徒歩、15 分です。バス停はありません。申請により、学生割引の対象となります。

20 訓練中や通校時の服装について

訓練中の服装は科ごとに指定された訓練用作業服を着用します。入校試験の際に採寸し、入校時に購入していただきます。通校時は私服、訓練用作業服どちらでも構いませんが、訓練生としてふさわしい服装を心がけてください。

20 訓練中や通校途中でケガをした場合の保障はありますか？

原則として入校の際に職業訓練生総合保険に加入していただいています。この保険から、訓練中や通校途中でケガをしてしまった場合は保険金が支払われます。

また、訓練中に過って他人に損害を与えてしまった場合や、インターンシップ・現場実習等の校外実習中に起こしてしまった損害についても同様の保険が適用されます。

入校選考試験について

22 入校選考試験は年何回ありますか？

入校選考試験は、推薦入校選考（在学する高校の推薦が必要です）、一般入校選考の2種類あります。推薦入校選考は1回、一般入校選考は2回実施します。

なお、募集定員に達していない場合に追加選考を行うことがあります。

令和4年度の入校選考日は以下のとおりです。

推薦入校選考・・・・・・・・・・・・・・・・・・令和4年10月24日（月）

一般入校選考・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回目 令和4年11月28日（月）

// ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2回目 令和5年1月16日（月）

23 過去の定員と倍率はどうなっていますか？

過去3年応募・入校状況

項目	機械加工科			電気工事科			画像処理印刷科			木造建築科			
	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	
募集定員	20	20	20	20	20	20	15	15	15	20	20	20	
応募者数	全体	8	8(1)	7	12	8(2)	11	13(4)	8(2)	13(4)	11(1)	6	10(1)
	内新卒者	7	8(1)	4	8	6	10	11(2)	4	7(2)	10(1)	5	5
入校者数	全体	8	7(1)	7	11	8(2)	9	12(4)	7(2)	11(3)	11(1)	6	9
	内新卒者	7	7(1)	4	8	6	9	10(2)	3	7(2)	10(1)	5	5
倍率	0.40	0.40	0.35	0.60	0.40	0.55	0.87	0.53	0.87	0.55	0.30	0.50	

() 内女性

過去3年の状況は、上記表のとおりです。女性も入校して頑張っています。

24 選考試験内容はどのようなものですか？

推薦入校選考試験では、職業適性検査、面接があります。一般入校選考試験では、学科（国語・数学）、職業適性検査、面接があります。

過去の学科問題が必要な方には配布することが可能です。希望される場合は当校へご連絡ください。

25 職業適性検査とはどのようなものですか？

職業に就くために必要な適性を判断するため、簡単な記述式の検査と器具を使った検査を行います。

26 どのような選考試験対策を行えばよいですか？

学科試験（国語・数学）は、高校1年生程度までの基礎的学習が大切です。学校の授業をしっかり受け、勉強することが一番大切です。また、過去問題を繰り返し解くことも効果があります。

27 オープンキャンパスはありますか？

毎年2回、7月と9月に体験入校見学会を行っています。令和4年度の日程は下記のとおりで、午前中に各科体験実習及び校内見学を行います。また、見学のみでの参加も可能です。詳しい内容は当校へお問い合わせください。

令和4年度体験入校見学会日時

回	開催日	時間
1	令和4年 7月 29日 (金)	午前9時～11時30分
2	令和4年 9月 17日 (土)	午前9時～11時30分

※各回とも開始15分前集合

日程

受付	概要説明	体験作業または見学	質疑応答等	施設見学等 (希望者のみ)	
8:45	9:00	9:20	11:00	11:10	11:30

費用について

28 学費はいくらかかりますか？

令和3年度の実績は下記のとおりです。

項目	授業料	入校料	入校審査料	教科書・作業服・工具・各種検定料等	
金額	118,800 円	5,650 円	2,200 円	機械加工科	10 万円程度
				電気工事科	23 万円程度
				画像処理印刷科	7 万円程度
				木造建築科	22 万円程度

29 分割払いは可能ですか？

原則として授業料は4月に一括納入いただきますが、4月、10月の年2回の分割納入も可能です。その他必要経費（教科書・作業服・工具代）は入校後のオリエンテーション時に業者が対面販売を行いますので、そこで購入いただきます。

また、各種検定料は、必要な時期にその都度集金の上、直ちに主催者あて払い込む形となっております。

30 奨学金や授業料等の減免制度はありますか？

当校は各種金融機関等で取り扱われている奨学金制度の対象とはなりません。ただし、奨学金に代わる制度として技能者育成資金融資制度があります。所得状況等、融資資格に関する条件がありますので、詳しくは当校へご相談ください。

また、授業料等の減免制度があります。制度を受けるにあたり、所得状況等の条件期にあふがありますので、詳しくは当校へご相談ください。

31 職業訓練受講給付金を受けることはできますか？

受給できる場合もあります。職業訓練受講給付金は雇用保険を受給できない求職者の方がハローワークの「支援指示」により職業訓練を受講し、給付金を受けることができる制度で、該当者には月額10万円が訓練期間中支給されます。

詳しくは最寄りのハローワークの職業訓練相談窓口へご相談ください。

令和4年度 年間行事計画（普通課程）

計画は変更になる場合があります。

4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月							
日	曜	行事内容	時	日	曜	行事内容	時	日	曜	行事内容	時	日	曜	行事内容	時	日	曜	行事内容	時			
1	金			1	日			1	水			1	金	就職支援（社1）		7	1	木				
2	土			2	月	訓練休業		2	木			2	土			2	火					
3	日			3	火	憲法記念日		3	金			3	日			3	水					
4	月			4	水	みどりの日		4	土			4	月			4	木					
5	火			5	木	こどもの日		5	日			5	火			5	金					
6	水			6	金	訓練休業		6	月			6	水			6	土					
7	木	入校式 L・HR（社1）	1	7	土			7	火			7	木			7	日					
8	金	オリエンテーション （社2）	7	8	日			8	水			8	金			8	月					
9	土			9	月	就職支援（社1）		9	木			9	土			9	火					
10	日			10	火			10	金	職業講話（社1）		10	日			10	水					
11	月			11	水			11	土			11	月			11	木	山の日				
12	火			12	木			12	日			12	火			12	金					
13	水			13	金			13	月			13	水			13	土					
14	木			14	土			14	火	健康診断（安作1）		14	木			14	日					
15	金			15	日			15	水			15	金			15	月					
16	土			16	月			16	木			16	土			16	火					
17	日			17	火			17	金			17	日			17	水	夏期休業 (7/29~8/17)				
18	月			18	水			18	土			18	月	海の日		18	木	2学期始業				
19	火			19	木			19	日			19	火			19	金		敬老の日			
20	水			20	金	AED/ 避難訓練（安作1）		20	月	マナーセミナー (電気/建築:社4)		20	水			20	土					
21	木			21	土			21	火	マナーセミナー (機械/画像:社4)		21	木			21	日					
22	金	交通安全講話（社1）	7	22	日			22	水			22	金			22	月					
23	土			23	月			23	木			23	土	スポーツの日		23	火					
24	日			24	火			24	金			24	日			24	水					
25	月			25	水			25	土			25	月			25	木					
26	火			26	木			26	日			26	火			26	金					
27	水			27	金			27	月			27	水			27	土					
28	木			28	土			28	火			28	木	1学期終業		28	日					
29	金	昭和の日		29	日			29	水			29	金	体験入校（第1回）		29	月					
30	土			30	月			30	木			30	土			30	火					
				31	火			31	日	夏期休業 (7/29~8/17)		31	水			7						
訓練 時間		106		訓練 時間		119		訓練 時間		154		訓練 時間		133		訓練 時間		70		訓練 時間	140	
累計		106	H	累計		225	H	累計		379	H	累計		512	H	累計		582	H	累計	722	H
訓練 日数		16		訓練 日数		17		訓練 日数		22		訓練 日数		19		訓練 日数		10		訓練 日数	20	
累計		16	D	累計		33	D	累計		55	D	累計		74	D	累計		84	D	累計	104	D
行事		L・HR（社1） 引アゲーション（社2） 交通安全講話（社1）		AED,避難訓練（安作1） 就職支援（社1）		職業講話（社1） マナーセミナー（社4） 健康診断（安作1）		授業参観・三者懇談 就職支援（社1）														

10月			11月			12月			1月			2月			3月											
日	曜	行事内容	時	日	曜	行事内容	時	日	曜	行事内容	時	日	曜	行事内容	時	日	曜	行事内容	時							
1	土			1	火			7	1	木		7	1	日	元日		1	水		7	1	水		7		
2	日			2	水			7	2	金		7	2	月			2	木		7	2	木		7		
3	月			7	3	木	文化の日		3	土		3	火			3	金		7	3	金	労働講話(社1)		7		
4	火			7	4	金	訓練休業		4	日		4	水	冬期休業 (12/24~1/4)		4	土		7	4	土					
5	水			7	5	土			5	月		7	5	木	3学期始業		7	5	日		7	5	日			
6	木			7	6	日			6	火		7	6	金		7	6	月		7	6	月		7		
7	金			7	7	月			7	7	水		7	7	土		7	火		7	7	火		7		
8	土			7	8	火			7	8	木		7	8	日		8	水		7	8	水		7		
9	日			7	9	水			7	9	金		7	9	月	成人の日		9	木		7	9	木		7	
10	月	スポーツの日		7	10	木			7	10	土		10	火			7	10	金		7	10	金	生活設計講座 (社1)	7	
11	火			7	11	金			7	11	日		11	水			7	11	土	建国記念の日		11	土			
12	水			7	12	土			12	月		7	12	木			7	12	日		7	12	日			
13	木			7	13	日			13	火		7	13	金			7	13	月	追加入校選考 (第1回)		7	13	月	追加入校選考 (第2回)	7
14	金			7	14	月			7	14	水		7	14	土		14	火		7	14	火		7		
15	土			7	15	火			7	15	木		7	15	日		15	水		7	15	水		7		
16	日			7	16	水			7	16	金		7	16	月	一般後期入校選考 (訓練休業)		16	木		7	16	木	修了式 L・HR(社1)	1	
17	月			7	17	木			7	17	土		17	火			7	17	金		7	17	金			
18	火			7	18	金			7	18	日		18	水			7	18	土		7	18	土			
19	水			7	19	土			19	月		7	19	木			7	19	日		7	19	日			
20	木			7	20	日			20	火		7	20	金			7	20	月		7	20	月			
21	金	避難訓練 (安作1)		7	21	月			7	21	水		7	21	土		21	火		7	21	火	春分の日			
22	土			7	22	火			7	22	木		7	22	日		22	水		7	22	水				
23	日			7	23	水	勤労感謝の日		23	金	2学期終業		7	23	月		7	23	木	天皇誕生日		23	木			
24	月	推薦入校選考 (訓練休業)		7	24	木			7	24	土	冬期休業 (12/24~1/4)		24	火		7	24	金	訓練休業		24	金			
25	火			7	25	金			7	25	日		25	水			7	25	土		7	25	土			
26	水			7	26	土			26	月		26	木			7	26	日		7	26	日				
27	木			7	27	日			27	火		27	金			7	27	月		7	27	月				
28	金			7	28	月	一般前期入校選考 (訓練休業)		28	水		28	土			28	火		7	28	火		7	28	火	
29	土			7	29	火			7	29	木		29	日						7	29	水				
30	日			7	30	水			7	30	金		30	月			7				7	30	木			
31	月			7					31	土		31	火			7					7	31	金			
訓練時間		133		訓練時間		126		訓練時間		119		訓練時間		119		訓練時間		126		訓練時間		78				
累計		855	H	累計		981	H	累計		1100	H	累計		1219	H	累計		1345	H	累計		1423	H			
訓練日数		19		訓練日数		18		訓練日数		17		訓練日数		17		訓練日数		18		訓練日数		12				
累計		123	D	累計		141	D	累計		158	D	累計		175	D	累計		193	D	累計		205	D			
行事	避難訓練(安作1)																		技能照査					労働講話(社1) 生活設計講座(社1) L・HR(社1) 年間専門教科:1,409h 年間普通教科:社会(14h)		

各科訓練カリキュラム

機械加工科（機械系 機械加工科）普通課程（1年）

ア 訓練目標

実践作業による汎用工作機械の安全で正しい操作、及び、基本的な切削条件の選択、加工手順の決め方、また、旋盤、フライス盤、ボール盤、平研に必要な工具の選択等段取りをし、基本的な加工法を習得するとともに、NC工作機械のプログラム作成と加工、CADを使った製図、CAMによる加工データの作成法を習得する。

技能検定2級程度の技能と関連知識の習得を目指す。

イ 教科内容

教科科目の区分		訓練時間	教科の細目	
普通 学科	社会	14	オリエンテーション、各種講話、就職支援等	
	小計	14		
専門 学科	系基礎	機械工学概論	30	機械要素、機構と運動、原動機、機械一般
		電気工学概論	20	電気磁気学、回路理論、電力と三相交流、電気機器
		NC加工概論	30	数値制御理論、NC言語、NCプログラミング法、加工工程設計
		生産工学概論	20	生産の合理化、計画と統計、品質管理、工程改善、原価管理
		材料力学	30	材料の力学的性質、荷重と応力、曲げとたわみ、ねじりとひずみ、相当応力
		材 料	20	金属の組織、金属材料、非金属材料、潤滑油
		製 図	30	JIS製図規格、機械製図、立体製図、CAD
		機械工作法	60	鋳造、鍛造、塑性加工、溶接、工作機械、機械組み立て
		測定法	20	測定法概説、測定・試験機器、形状測定、材料試験、電氣的測定
	安全衛生	30	産業安全、労働衛生、安全衛生管理、関係法規、危険回避、事故予測	
	専攻	機械加工法	60	切削理論、切削工具、切削加工法、研削加工法、NC工作法、工作機械
		金型工作法	40	金型の種類と構造、プレス型、樹脂成開型、鍛造型、鋳物型
		機械保全法	20	機械の状態診断、対処法
小計	410			
専門 実技	系基礎	コンピュータ基本操作実習	60	コンピュータ操作、基礎プログラミング、写真動画処理
		製図基本実習	60	機械要素製図、加工図、組立図、立体図、写図、CADの操作
		安全衛生作業法	20	安全衛生作業法、作業手順書作成
	専攻	測定実習	40	寸法測定、形状測定
		NC加工実習	420	加工工程設計、NC加工プログラミング法、CAD/CAM作業、NC加工
		機械工作実習	160	機械加工、溶接加工、機械分解組立て、治具製作
		切削加工及び研削加工実習	209	旋削加工、フライス加工、研削加工、刃物研削
		機械保全実習	30	機械の状態診断作業、対処作業
小計	999			
合計	1,423			

訓練時間の1時限は50分です。

電気工事科（電力系 電気工事科）普通課程（1年）

ア 訓練目標

一般住宅、ビル、工場等の電気設備工事に必要な施工技術や配線設計を習得する。
また、電気工事に関連する資格取得を目指すとともに、CADの操作方法やシーケンス制御に関連する技能・技術を習得する。

イ 教科内容

教科科目の区分		訓練時間	教科の細目
普通 学科	社会	14	オリエンテーション、各種講話、就職支援等
	小 計	14	
専門 学科	系 基 礎	自動制御概論	32 制御理論、制御方式と特徴
		生産工学概論	35 職場と組織、工程管理、作業研究、品質管理
		電気理論	131 電気磁気学、回路理論、電気通信概論
		電気材料	31 電気材料の種類、性質及び用途
		電力工学	41 電力系統の構成、建築電気設備の概要、環境対策
		電気機器	73 発電機、電動機、変圧器、パワーエレクトロニクス機器
		製図	31 製図一般、電気製図
		測定法及び試験法	32 一般計測、電気計測、機器試験
		安全衛生	44 産業安全及び労働衛生、安全衛生管理の実際、安全衛生関係法規の概要、具体的災害防止対策
		関係法規	68 電気事業法、その他関連法規
	専 攻	電気応用	33 照明・電熱とその応用・電力応用
		設計図・施工図	64 平面図、結線図、施工図、設計・積算の概要
		電気工事	119 建築設備の概要、建築電気設備、電気工事材料、電気工사용器具、各種施工法、接地、検査方法
	小 計		734
専門 実 技	系 基 礎	電気基本実習	97 計測一般、電気回路の組立て計測、電線の取扱い、器具の使用法、機器試験
		コンピュータ操作 基本実習	36 コンピュータの操作、アプリケーションソフトの利用
		安全衛生作業法	54 安全衛生作業、救急処置
	専 攻	電気機器制御実習	69 制御装置の取扱、シーケンス制御、制御回路図、制御配線
		電気工事实習	419 電気工사용器具の使用法、電気工事材料の取扱、各種施工法、電灯配線工事、動力配線工事、通信設備工事、接地工事検査方法、保守、管理
小 計		675	
合 計		1,423	

訓練時間の1時間限は50分です。

画像処理印刷科（印刷・製本系 製版科）普通課程（1年）

ア 訓練目標

企画から印刷・製本までの一連の印刷工程を把握し、各工程における知識・技能を習得することを旨とする。

具体的には、写真や線画・文字原稿等の製作、画像処理装置を使った入力・編集・出力、印刷版の作成、オフセット印刷作業、製本作業を行う。この訓練によって材料や機器の取り扱い、作業の段取り、各印刷物の特徴を理解することに重点を置く。

また、課題作品の制作においては、時間、材料、規格等決められた条件の中で、習得した知識と技能を用いて、より完成度の高い作品の制作に努めることで、創造性豊かな技能者となることを旨とする。

イ 教科内容

教科科目の区分		訓練時間	教科の細目	
普通 学科	社会	14	オリエンテーション、各種講話、就職支援等	
	小計	14		
専門 学科	系基礎	コンピュータ概論	28	コンピュータ基礎、ハードウェア、ソフトウェア、セキュリティ、ネットワーク
		印刷・製本概論	72	印刷の歴史と文化、DTP、印刷方式、加工、製本の沿革、製本の意義、製本の種類、書籍の各部の名称、印刷メディア
		デザイン概論	71	デザイン原理、デザインの分野と沿革、図の構成、形、文字、色彩
		生産工学概論	10	生産工程、生産管理、生産設備管理、品質管理
		安全衛生	21	産業安全及び労働衛生、安全衛生管理の実際、具体的災害防止対策、VDT作業
	専攻	写真理論	12	写真の原理
		プリプレス	41	プリプレス、カラーマネジメント、色補正、DTPの指定、データ管理、DTPの設定
		画像処理	60	原稿、デジタル画像、色修正、画像処理、デジタルメディア
		グラフィックデザイン	82	企画原案、プレゼンテーション、印刷原稿作成、編集レイアウト、色采待合、製版指定、Webデザイン（HTML・CSSの基礎）
		Webデザイン	36	Webサイトの構成要素、Webブラウザの機能と種類、HTMLの基礎、CSSの基礎
	小計	433		
専門 実技	系基礎	コンピュータ操作基本実習	43	コンピュータ等の使用実習
		印刷物作成及び加工基本実習	99	用具使用法、図研描画、出力データの作成、出力作業、色彩構成
		安全衛生作業法	20	安全衛生作業法、避難訓練、健康診断
	専攻	デジタル写真撮影実習	21	カメラ操作、写真撮影、写真出力
		画像処理実習	226	画像処理、画像通信、印字、校正、修正、保存、出力、デジタルメディア
		レイアウトデザイン実習	244	原稿作成、紙面構成、文字編集、色彩構成、ページレイアウト、製版指定、色校正、表現技法、データの校正・修正、面付け・出力、製本加工、Webサイトの制作と公開
		平版印刷実習	277	製版出力作業、単色・多色オフセット印刷、製本（簡易）
		Webデザイン実習	46	Webサイト制作の準備、見出し・段落・リスト、リンクと画像の挿入、ページのスタイル、フォームの作成、Webサイトの公開
小計	976			
合計	1,423			

訓練時間の1時限は50分です。

木造建築科（建築施工系 木造建築科）普通課程（1年）

ア 訓練目標

木造建築用の器工具及び機械の取扱いができるとともに、継手・仕口等の加工組立ができ、小規模の木造建築物の施工ができる程度の技能及び関連知識を習得する。

技能検定2級程度の技能と関連知識の習得を目指し、在校中に技能五輪県大会に参加する。

イ 教科内容

教科科目の区分		訓練時間	教科の細目	
普通 学科	社 会	14	オリエンテーション、各種講話、就職支援等	
	小 計	14		
専門 学科	系 基 礎	建築概論	10	建築の概要、建築物の種類、建築史
		構造力学概論	30	力の釣合い、荷重と外力、応力、断面の性質
		建築構造概論	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築
		建築計画概論	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方、建築環境
		建築生産概論	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務
		建築設備	20	設備計画、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備
		測 量	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算
		建築製図	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築製図の概要
		安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法
	関係法規	20	建築基準法、建設業法、建築士法	
	専 攻	木質構造	20	デザインと構造、荷重と構造計画、木質構造用材料、木質構造の接合部、各部構造の設計
		建築材料	20	金属系材料、木質系材料、セメント系材料、プラスチック系材料、その他の材料
		規矩術	30	さしがね使用法、勾配、爰と玄等の名称及び長さの計算、四方転び、隅木
		工作法	30	図板・尺杖等の作成方法、構造材の墨付け及び切組、内部造作材の木ごしらえ、及び取付け
		木造建築施工法	30	墨付け、仕口と継手、造作、断熱・機密、防蟻、防音
		仕様及び積算	20	仕様書、積算
	小 計		400	
専門 実技	系 基 礎	機械操作基本実習	110	機械使用法、CAD操作、OA機器操作
		測量基本実習	50	水準測量、角測量、測量図
		安全衛生作業法	30	安全衛生作業法
	専 攻	器工具使用法	155	木工機械の取扱い、電動工具の取扱い、手工具の取扱い
		工作実習	230	木工機械及び手工具による加工
		木造建築施工実習	434	木造建築物の施工、詳細図、施工図等作成
		小 計	1,009	
合 計		1,423		

訓練時間の1時限は50分です。

各科取得可能資格一覧表

《令和3年度 資格等取得状況》

(単位：人)

資格種別	機械加工科	電気工事科	画像処理 印刷科	木造建築科
技能士補	5	6	3	6
技能検定 数値制御旋盤作業3級	4			
試験別				
学科試験	(4)			
実技試験	(5)			
技能検定 機械検査3級	5			
技能検定 機械系保全3級	6			
第二種電気工事士		8		
内 訳				
筆記試験		(8)		
技能試験		(8)		
第一種電気工事士試験合格		8		
試験別				
筆記試験		(8)		
技能試験		(8)		
消防設備士第4類(自動火災報知設備) 甲種		3		
2級電気工事施工管理技士(第1次検定)		6		
技能五輪技能証(建築大工2級程度)				4
危険物取扱者 乙種第4類				
Web クリエイター能力検定試験(スタンダード)			4	
Illustrator クリエイター 能力認定試験	エキスパート		1	
	スタンダード		5	
Photoshop クリエイター 能力認定試験	エキスパート		1	
	スタンダード		6	
玉掛け技能講習	5	7		6
クレーン運転(5トン未満)安全衛生特別教育	6			
小型移動式クレーン運転技能講習		7		6
高所作業車運転技能講習		7		
フォークリフト運転技能講習	1			
アーク溶接等安全衛生特別教育	3			
自由研削といし取替え等業務安全衛生特別教育	6			
フォークリフト(1ト未満)運転特別教育			6	
小型車両系建設機械安全衛生特別教育		6		
低圧電気取扱作業安全衛生特別教育		8		
フルハーネス型墜落制止器具を用いて行う作業に係る特別教育		8		

修了生の主な就職実績

《機械加工科》

主な就職先（敬称略、五十音順）

(株)Aizaki 飯山精器(株) (株)上原溶接所 カイシン工業(株) (株)カヤマ コパル・ヤマダ(株)
(株)コヤマ シナノケンシ(株) (株)シンエイ・ハイテック (株)関谷製作所
中野プラスチック工業(株) 宮後工業(株) (株)山岸製作所 等

《電気工事科》

主な就職先（敬称略、五十音順）

石井電気工業(株) 協栄電気興業(株) (株)KDK 国際電設工業(株) (株)コスモ電設 三協電設工業(株)
高山電業(株) 玉井電設(株) 千曲電業(株) (株)寺澤電業社 日東電気工事(株) (株)町田電機商会
丸十電気(株) (株)峰電舎 (有)宮崎電気 等

《画像処理印刷科》

主な就職先（敬称略、五十音順）

亜細亜印刷(株) (株)イシワタグラフィックス (株)エイブルデザイン (株)カナエ
共和紙器印刷(株) (有)彩光 三和印刷(株) (株)渋谷文泉閣 信毎書籍印刷(株) (株)双真
東洋印刷(株) 長野印刷商工(株) 日経印刷(株) (株)ビー・クス 富士印刷(株)
(有)プリントオフィスパール 矢沢印刷(株) 等

《木造建築科》

主な就職先（敬称略、五十音順）

飯島建設(株) (有)勝山建設 (株)栗木組 (株)熊木住建 小山木材(株) (株)春原木材
セリタホームズ(株) 竹花工業(株) (有)竹節建築 (株)ツチクラ住建 (有)寺島工務店
(株)ナガノ建築エンジニアリング 野村建設(株) (株)フォレストコーポレーション (株)服田建設
(株)林工務店 北信地域材加工事業協同組合 等

長野県長野技術専門校

〒 388-8011

長野市篠ノ井布施五明3 5 3 7

TEL 026- 292- 2341

FAX 026- 292- 2342

Email nagagisen@pref.nagano.lg.jp

URL <https://www.pref.nagano.lg.jp/nagagisen/>